

令和7年7月



免許返納体験談

～免許返納後も楽しく生活できています～

自主返納
をしましょう！



川本警察署

川本警察署（交通課）

0855-72-0110

運転免許自主返納制度とは？

シニアドライバーのかた、最近自動車の運転に不安を感じることはありませんか。

また、ご家族にシニアドライバーがいらっしゃるかたは、安全に運転できているか、事故を起こしたりしないか、心配になることはありませんか。

運転免許自主返納制度は、「安全のために、自動車の運転を卒業しようかな」と考えるシニアドライバーが、有効期限が残っている運転免許証を、自らの意思で返納する制度です。

運転免許証の自主返納後は、申請によって公的な身分証明書としても使える「運転経歴証明書」が交付され、それを提示することにより、自治体や事業者などによる様々な特典やサービスを受けることができます。

返納手続きは警察署や各運転免許センターに申請することで行えます。（代理人による申請手続きも可能）

詳しくは

島根県運転免許センター

0 8 5 2 - 3 6 - 7 4 0 0

又は

川本警察署（交通課）

0 8 5 5 - 7 2 - 0 1 1 0

へお問い合わせください。



免許返納体験談

○ 男性（免許返納時 83 歳）、自宅に車有り（妻が運転）

テレビのニュースで高齢者のブレーキとアクセルの踏み間違いによる交通事故が増えていると流れており、妻から「大事になる前に免許を返納しようよ」と言われたことがきっかけで返納しました。

返納する前から、買い物等も妻が行くことが多く、特に不安はありませんでした。

返納後は、病院も妻が連れて行ってくれるので、今のところ支障はありません。

妻が返納した時は、バスやタクシーを使おうと思っています。

大事になる前に返納して良かったと思っています。



○ 男性（免許返納時 84 歳）、自宅に車有り（同居の娘が運転）

免許更新のタイミングで、家族から免許返納を勧められたため、良い機会だと捉えて免許返納を決意しました。

返納する前は、これまでと同じような行動ができなくなるのではと思い、寂しい気持ちや不安な気持ちがありました。

返納後の生活は、外出の頻度は減ってしまいましたが、同居の娘や別居する孫などが病院へ送ってくれるので、とても助かっています。

娘と一緒に外出した時に買い物もするので、不自由だと感じることはありません。

また、町内のタクシーは利用時に助成があるので、娘に手伝ってもらって、申請手続きをしました。

娘が仕事で忙しい時には、タクシーを利用するようにしています。



○ 女性（免許返納時 73 歳）、自宅に車有り（同居の家族が運転）



単独の物損事故を起こした時、人や家族に迷惑をかけた
くないと思い、免許証を返納することにしました。

返納する前は、不便になると不安でしたが、買い物等は
家族がしてくれますし、3ヶ月に1度の通院の時は、タク
シーを利用しています。

家族からは、シニアカーの購入を勧められていますが、
運転が心配なので、しばらく購入は控えています。

また、免許を返納してからは、歩く機会が増えて元気に
なったと感じています。

もともと、病院の先生から歩くように言われていました
が、免許を持っているときは、近所でも車で行ってしまっ
ていました。

健康になったと満足しています。

○ 女性（免許返納時 76 歳）、自宅に車有り（夫が運転）

免許を返納する何年か前に事故を経験したのですが、
仕事をしていたので、スクーターでゆっくりと運転をし
ながら、通勤していました。

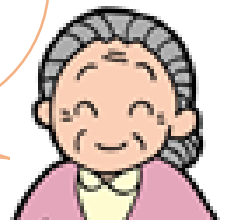
その後、退職したことで、運転免許の更新をせず、返
納することにしました。

返納することについては、夫とも相談して、賛成して
くれましたし、必要な時には夫が車を出してくれると言
ってくれたので、安心して返納しました。

私としては「もう運転しなくていい」という気持ちが
強かったと思います。

返納後の生活についても、夫の車に乗せてもらってい
るので、特に支障はありませんし、車を運転することが
不安だったので、返納してよかったと今でも思っていま
す。

また、返納した時には、役場から2000円の商品券
がもらえたので、少し得した気分になりました。



○ 男性（免許返納時 61 歳）、独居



以前はバイクに乗っていましたが、ガソリンスタンドも近くにはないですし、歩いて行ける距離に商店があったので「徒歩とバスで十分」と思って免許を返納しました。

便は少ないですが、バスがあるので、不安はありませんでした。

高齢者の交通事故をニュースでよくみるので、返納してよかったと思っています。

○ 女性（免許返納時 87 歳）、独居

2 年前に自宅で転倒し、骨折して入院した際、運転することに不安が残り、返納することを決めました。

返納する前は、楽しみが減ってしまうという気持ちはありましたが、何とかやっていけるだろうという前向きな気持ちで返納しました。

返納してからは、バスやタクシーなどの公共交通機関を利用したり、知人が外出の手助けをしてくれるので、不自由だと感じることはありません。

また、タクシー利用時には、町の助成を活用しています。

車を運転しなくなったことで、車検代やガソリン代などの維持費もかからなくなり、経済的にも良い面がありました。



○ 男性（免許返納時 75 歳）、配偶者（免許なし）と同居



物忘れが多くなり、家族から「事故があってからでは遅い」と促され、自主返納しました。

通院が不便になるのではないかと不安でしたが、妹が近所に住んでいることもあり、助けてもらいながら外出しています。

また、町からのタクシー利用助成もあるので、大変助かっています。

○ **男性（免許返納時 82 歳）、配偶者（免許なし）と同居**

私の運転を見た息子に「免許証を返納したらどうか」と言われたことがきっかけで返納しました。

返納するまでは、通院が難しくなるのではないかと不安でしたが、バスを利用して通院もできています。

バスは便が少ないので、若干の支障を感じることはありますが、妻は私が運転する度にとっても心配していたので、妻の心配事が減って良かったと思っています。



○ **男性（免許返納時 80 歳）、独居**



物忘れがひどくなってきた、返納することにしました。息子が近くで働いており、買い物もしてくれますし、町の弁当配達サービスもあるので、生活上の支障はありません。

○ **男性（免許返納時 84 歳）、配偶者（免許なし）と同居**

車を駐車した時、サイドブレーキを引き忘れてしまい、車が勝手に動いて危ない思いをしました。

また、夕暮れ時の運転についても、見えづらく感じるようになり、今後の人生を考えた時に「事故でもしたら大変だ」と思って返納することにしました。

免許を返納すると不自由なこともありますが、事故を起こすことを思えば気にもなりませんし、大事をせずにすんだという安心感と喜びがありました。

現在は主にバスを利用しておりますが、川本町は 3 年間の無料券が貰えるので買い物や通院等でとても助かっています。

また、タクシーも利用すると便利ですし、車の維持にかかっていた費用よりも安くすむので、バスが使えないときにはよく利用しています。



○ 男性（免許返納時 79 歳）、独居

原付バイクを運転しているとき、対向車が来て左へ寄る際、寄りすぎて道路から落ちそうになり、もう運転は危ないと思って返納を決めました。

返納する前は、買い物へ行くにもどうしようかと不安がありましたが、そのことを息子に相談したところ、シニアカーを購入してくれたので、町内に出かけるときはシニアカーを使っています。

大田市へ出るときも、バスがあるので特に支障はありません。

ただ、バスの時間が決まっていますので、突然の用事等は困ることもありますが、少し不便になったこと以外は特に困っていません。



○ 女性（免許返納時 82 歳）、独居

バイクの運転で、そろそろ危ないと思い返納することにしましたが、タクシーの割引があるので、特に不安はありませんでした。

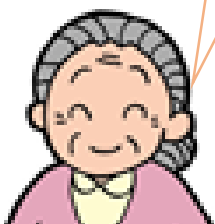
実際にタクシーを利用して、特に支障はありませんし、タクシー運転手の方もとても親切で安心しています。

知り合いの同級生も免許を返納しており、お互いタクシーを使って行き来もしています。

バイクに乗っていた時のことを今思うと、トンネルの中など危ないところをよく走っていたなあと怖く感じます。

若かったから乗れたのだと思います。

今となっては、怪我とか事故を起こして子供に心配をかける前に返納できて良かったと思っています。



○ 女性（免許返納時 77 歳）、独居

めまいがひどく、病院へ通っていましたが、病院の先生に促されて免許を返納しました。

自分の症状を第三者的に見て、返納すべき状態だったのだと思います。

返納する前から、甥が面倒を見てくれると言ってくれていたの、特に不安はありませんでした。

返納後は、甥が週 1 回病院へ連れて行ってくれますし、近くにお店もあるので支障はありません。

日用品でかさばるもの等についても、移動販売に頼んで持ってきてもらうこともできます。

また、近くに車を運転する友達もいるので、出かけるときに一緒に乗せてもらって、買い物もできています。



○ 男性（免許返納時 78 歳）、配偶者（免許なし）と同居

脳が萎縮する病気が判明しましたが、病院の先生からは運転をやめるように言われなかったもので、しばらく運転を続けていました。

ですが、それ以降道路の中央分離帯に接触する交通事故を起こしたり、これまででは考えられない運転をするようになりました。

最終的に追突事故を起こしてしまい、妻が警察に相談したところ、免許の返納を検討するように助言されたようで、返納を決意しました。

バスに乗り慣れていなかったもので、目的地までどのように行けばよいのかと不安がありましたが、現在は、バスや補助があるタクシーを利用しています。

補助が町内に限定されることと、一度で買い物をする量が限られることについては少し支障があると思いますが、妻は心配がなくなったと安心していています。

